

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年5月27日から2020年4月20日 (当初、無期限)まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界(除く日本)の債券に投資を行い、安定的な利子等収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 高格付海外債券マザーファンド 世界(除く日本)の債券
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■格付けが高く相対的に高金利な5通貨を選定し、世界(除く日本)の国債などに投資します。 ■実質的な組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ■株式への投資は転換社債の転換、ならびに新株予約権の行使による取得に限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 <p>高格付海外債券マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ■株式への投資は転換社債の転換、ならびに新株予約権の行使による取得に限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分も含めた利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の金額とします。 ■安定的かつ継続的な分配を目指し、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※「安定的かつ継続的な分配を目指し」としてはいますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることに留意ください。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

高格付海外債券 ファンド(毎月分配型)

【愛称:きらきら星】

【繰上償還 運用報告書(全体版)】

第24作成期 (2019年10月22日から2020年4月20日まで)

第 **136** 期 / 第 **137** 期 / 第 **138** 期
決算日2019年11月20日 決算日2019年12月20日 決算日2020年1月20日

第 **139** 期 / 第 **140** 期 / 第 **141** 期
決算日2020年2月20日 決算日2020年3月23日 償還日2020年4月20日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界(除く日本)の債券に投資を行い、安定的な利子等収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行い、2020年4月20日に繰上償還となりました。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第20 作成期		円	円	%	%	百万円
	112期(2017年11月20日)	8,054	30	△2.0	97.8	1,833
	113期(2017年12月20日)	8,162	30	1.7	96.5	1,857
	114期(2018年1月22日)	8,109	30	△0.3	97.0	1,846
	115期(2018年2月20日)	7,763	30	△3.9	96.9	1,766
	116期(2018年3月20日)	7,582	30	△1.9	97.0	1,727
第21 作成期	117期(2018年4月20日)	7,677	30	1.6	97.0	1,750
	118期(2018年5月21日)	7,681	30	0.4	97.0	1,752
	119期(2018年6月20日)	7,598	30	△0.7	97.6	1,725
	120期(2018年7月20日)	7,716	30	1.9	97.8	1,575
	121期(2018年8月20日)	7,548	30	△1.8	96.6	1,390
	122期(2018年9月20日)	7,595	30	1.0	96.6	1,036
第22 作成期	123期(2018年10月22日)	7,479	30	△1.1	96.4	945
	124期(2018年11月20日)	7,590	30	1.9	94.5	658
	125期(2018年12月20日)	7,606	30	0.6	92.4	434
	126期(2019年1月21日)	7,426	30	△2.0	92.6	350
	127期(2019年2月20日)	7,539	30	1.9	91.0	204
	128期(2019年3月20日)	7,576	30	0.9	94.1	206
第23 作成期	129期(2019年4月22日)	7,557	30	0.1	93.9	206
	130期(2019年5月20日)	7,364	30	△2.2	93.6	202
	131期(2019年6月20日)	7,343	30	0.1	95.8	200
	132期(2019年7月22日)	7,413	30	1.4	96.4	200
	133期(2019年8月20日)	7,247	30	△1.8	96.0	194
	134期(2019年9月20日)	7,243	30	0.4	95.6	195
第24 作成期	135期(2019年10月21日)	7,257	30	0.6	97.5	191
	136期(2019年11月20日)	7,214	30	△0.2	96.4	189
	137期(2019年12月20日)	7,270	30	1.2	93.2	185
	138期(2020年1月20日)	7,345	30	1.4	95.1	188
	139期(2020年2月20日)	7,290	30	△0.3	96.7	178
	140期(2020年3月23日)	6,646	30	△8.4	96.0	152
	(償還時)	(償還価額)				
	141期(2020年4月20日)	6,688.13	—	0.6	—	116

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率
			騰 落 率	
第136期	(期 首) 2019年10月21日	円 7,257	% —	% 97.5
	10月末	7,268	0.2	97.1
	(期 末) 2019年11月20日	7,244	△0.2	96.4
第137期	(期 首) 2019年11月20日	7,214	—	96.4
	11月末	7,269	0.8	96.2
	(期 末) 2019年12月20日	7,300	1.2	93.2
第138期	(期 首) 2019年12月20日	7,270	—	93.2
	12月末	7,349	1.1	92.9
	(期 末) 2020年1月20日	7,375	1.4	95.1
第139期	(期 首) 2020年1月20日	7,345	—	95.1
	1月末	7,265	△1.1	95.5
	(期 末) 2020年2月20日	7,320	△0.3	96.7
第140期	(期 首) 2020年2月20日	7,290	—	96.7
	2月末	7,204	△1.2	94.6
	(期 末) 2020年3月23日	6,676	△8.4	96.0
第141期	(期 首) 2020年3月23日	6,646	—	96.0
	3月末	6,699	0.8	—
	(償 還 時) 2020年4月20日	(償還価額) 6,688.13	0.6	—

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況（設定日（2008年5月27日）から償還日（2020年4月20日）まで）

設定以来の基準価額の推移



前作成期までの概略（設定日（2008年5月27日）から第23作成期末（2019年10月21日）まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に格付けが高く相対的に高金利な世界（除く日本）の国債などに投資を行いました。外貨建資産について、対円での為替ヘッジを行っておりません。

以下は、設定日から第23作成期末までの基準価額の変動要因です。

【第1作成期（設定日（2008年5月27日）～2008年10月20日）】

下落要因 ・ 米国発の金融危機により全ての投資通貨が対円で大幅に下落（円高）したこと

【第2作成期（2008年10月21日～2009年4月20日）】

下落要因 ・ 米国発の金融危機により全ての投資通貨が対円で大幅に下落（円高）したこと

【第3作成期（2009年4月21日～2009年10月20日）】

上昇要因

・世界的な景気回復期待の高まりによる投資家のリスク志向の回復に伴い、高金利通貨を買う動きが強まったことを主因に、ファンドの投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと

【第4作成期（2009年10月21日～2010年4月20日）】

下落要因

・オーストラリアドルを除く全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第5作成期（2010年4月21日～2010年10月20日）】

下落要因

・全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第6作成期（2010年10月21日～2011年4月20日）】

上昇要因

・全ての投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと

【第7作成期（2011年4月21日～2011年10月20日）】

下落要因

・ほとんどの投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第8作成期（2011年10月21日～2012年4月20日）】

上昇要因

・ほとんどの投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと

【第9作成期（2012年4月21日～2012年10月22日）】

下落要因

・全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第10作成期（2012年10月23日～2013年4月22日）】

上昇要因

・オーストラリアを除く投資対象国の債券利回りが低下（債券価格は上昇）したこと

【第11作成期（2013年4月23日～2013年10月21日）】

下落要因 ・ 全ての投資対象国の債券利回りが上昇（債券価格は下落）したこと

【第12作成期（2013年10月22日～2014年4月21日）】

上昇要因 ・ 世界景気の緩やかな回復期待高まりから、ほとんどの投資通貨が円に対し上昇（円安）したこと

【第13作成期（2014年4月22日～2014年10月20日）】

上昇要因 ・ 全ての投資対象国の債券利回りが低下（債券価格は上昇）したこと

【第14作成期（2014年10月21日～2015年4月20日）】

上昇要因 ・ 10月末に日銀が大規模な追加金融緩和策を決定したことで、12月上旬にかけて投資通貨が円に対して大幅に上昇（円安）したこと

【第15作成期（2015年4月21日～2015年10月20日）】

下落要因 ・ ニュージーランドを除くほぼ全ての国の債券利回りが上昇（債券価格は下落）したこと

【第16作成期（2015年10月21日～2016年4月20日）】

下落要因 ・ 英ポンドを筆頭に全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第17作成期（2016年4月21日～2016年10月20日）】

下落要因 ・ EU離脱を巡る混乱などから英ポンド（6月末に売却）を筆頭にほぼ全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第18作成期 (2016年10月21日～2017年4月20日)】

上昇要因 ・ 全ての投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと

【第19作成期 (2017年4月21日～2017年10月20日)】

上昇要因 ・ 全ての投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと

【第20作成期 (2017年10月21日～2018年4月20日)】

下落要因 ・ 堅調な景気動向などを背景に、米国を筆頭に投資国の債券利回りが上昇（債券価格が下落）したこと

【第21作成期 (2018年4月21日～2018年10月22日)】

下落要因 ・ ニュージーランドドルやオーストラリアドルが円に対して下落（円高）したこと

【第22作成期 (2018年10月23日～2019年4月22日)】

上昇要因 ・ 全ての投資国の債券利回りが低下（価格は上昇）したこと
・ シンガポールドルやニュージーランドドル、オーストラリアドルが円に対して上昇（円安）したこと

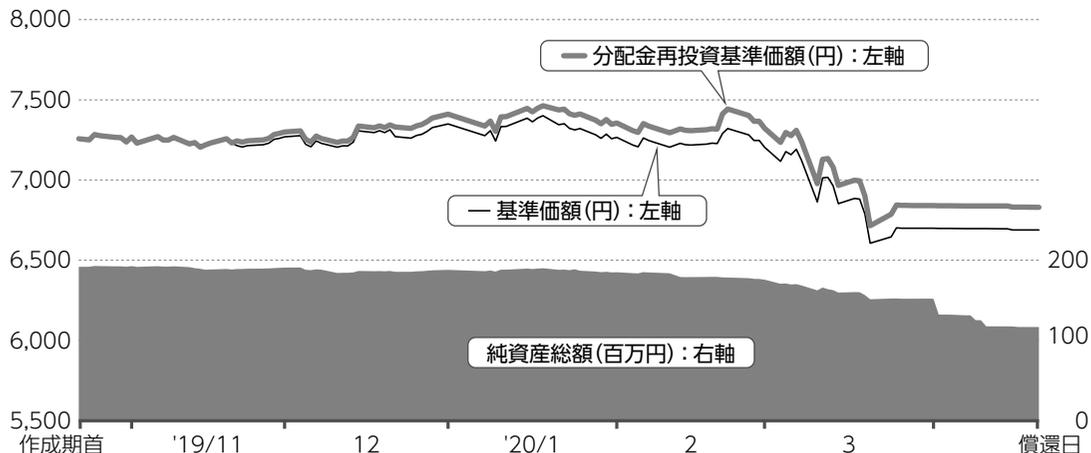
【第23作成期 (2019年4月23日～2019年10月21日)】

下落要因 ・ 全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年10月22日から2020年4月20日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	7,257円
償還日	6,838円13銭 (当作成期分配金150円(税引前)込み)
騰落率	-5.9% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因（2019年10月22日から2020年4月20日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に格付けが高く相対的に高金利な世界（除く日本）の国債などに投資を行いました。外貨建資産について、対円での為替ヘッジを行っておりません。

下落要因

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リスク回避姿勢が高まり、全ての投資通貨が逃避通貨とされる円に対して下落したこと

投資環境について（2019年10月22日から2020年4月20日まで）

投資国の債券利回りは、全ての国で低下（債券価格は上昇）しました。為替市場では、全ての投資通貨が円に対して下落しました。

海外債券市場

作成期初から年末にかけては、底堅い米国の経済指標が続く中、英国が合意なきEU（欧州連合）離脱を回避できるとの期待が高まったこと（2020年1月末に離脱が実現しました）や、12月には米中通商協議における第一段階の合意が発表されたことで投資家のリスク選好姿勢が強まり、投資国の債券利回りは総じて緩やかに上昇して推移しました。2020年1月から3月にかけては、中国発の新型コロナウイルスの感染が世界各国に広がりを見せるなかで、世界的な株価急落を受けたリスク回避的な動きや、3月以降のFRB（米連邦準備制度理事会）をはじめとした各国中央銀行の緊急利下げや大規模な資産買取策を実施する動きが相次ぎ、投資国の債券利回りは大きく低下しました。その後、償還日にかけては、世界的に株価が緩やかな反転上昇に転じる中でも、投資国の債券利回りは総じて低位で推移しました。

作成期を通してみれば、全ての投資国の債券利回りは低下しました。

当作成期の市場の動きをFTSE世界国債インデックスおよび参考市場インデックスの国別の最終利回りで見ると、米国は作成期首

1.72%から償還日0.54%へと低下し、ニュージーランドは作成期首1.11%から償還日0.73%へと低下しました。

為替市場

作成期初から年末にかけては、英国の合意なきEU離脱を回避できるとの期待が高まったことや、12月に米中通商協議における第一段階の合意が発表されたことで、投資家のリスク回避姿勢の後退から、投資通貨は円に対して概ね底堅い動きが続きました。2020年1月から3月にかけては、中国発の新型コロナウイルスの感染が世界各国に広がるなか、世界的に株価が急落し、投資家のリスク回避の動きが強まり、ノルウェークローネやニュージーランドドル、カナダドルの資源国通貨を中心に円に対し大きく下落しました。米ドルは、FRBの緊急利下げなどを背景に一時的に円に対して下落する局面がありましたが、リスク回避的な動きに伴う米ドル資金需要もあり、米ドルが急反発し、円に対する下落幅は小幅に留まりました。その後、償還日にかけては、世界的に株価が緩やかに持ち直す中で、投資通貨も下げ止まり、もみ合い推移へ移行しました。作成期を通してみれば、

全ての投資通貨が円に対して下落しました。

当作成期の米ドル・円は、作成期首108円52銭から償還日107円89銭と0円63銭の米ドル安・円高、カナダドル・円は、作成期首82円64銭から償還日76円84銭と5円80銭

のカナダドル安・円高、ニュージーランドドル・円は、作成期首69円37銭から償還日64円89銭と4円48銭のニュージーランドドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

当ファンド

作成期を通じて、「高格付海外債券マザーファンド」を高位に組み入れました。

高格付海外債券マザーファンド

●債券組入比率

債券の組入比率は高位に維持しました。償還日に向けては、保有債券の全売却を行いました。

●デュレーション

デュレーション(投資資金の平均回収期間)は通貨単位でコントロールし、通貨毎に概ね市場(F T S E世界国債インデックス(除く日本)^{※1}または参考市場インデックス^{※2}の通貨毎)平均程度となるように調整を行いました。

※1 F T S E世界国債インデックス(除く日本)とは、F T S E Fixed Income L L Cにより運営されている、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券イ

ンデックスです。

※2 参考市場インデックスとは、F T S E Fixed Income L L Cにより運営されている、「F T S E世界国債インデックス」採用国以外の世界主要国の国債の市場別債券インデックスです。

●通貨別配分

格付けが高く相対的に高金利な5通貨を選定し、選定した5通貨に概ね等金額を配分しました。作成期首には、米ドル、カナダドル、ノルウェークローネ、ニュージーランドドル、シンガポールドルの5通貨を投資通貨として組み入れており、これらの5通貨の組入れを継続しました。償還日に向けては、投資通貨を全額売却しました。

●種別配分

国債の組入れを行いました。

●格付け別配分

全てA A A格の債券(S & PまたはMoody's(米格付け会社)のいずれか高い方を採用)に投資を行いました。

ベンチマークとの差異について（2019年10月22日から2020年4月20日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2019年10月22日から2020年4月20日まで）

第136期から第140期までの1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ30円といたしました。

なお、第141期については、償還のため該当事項はございません。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
当期分配金	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	(0.414%)	(0.411%)	(0.407%)	(0.410%)	(0.449%)
当期の収益	14	19	20	14	13
当期の収益以外	15	10	9	15	16
翌期繰越分配対象額	340	329	320	304	288

※単位未滿を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細（2019年10月22日から2020年4月20日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	39円	0.547%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（投信会社）	(18)	(0.252)	
（販売会社）	(20)	(0.273)	
（受託会社）	(2)	(0.022)	
(b) その他費用	16	0.224	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
（保管費用）	(16)	(0.220)	
（監査費用）	(0)	(0.003)	
（その他）	(0)	(0.001)	
合計	55	0.771	

期中の平均基準価額は7,175円です。

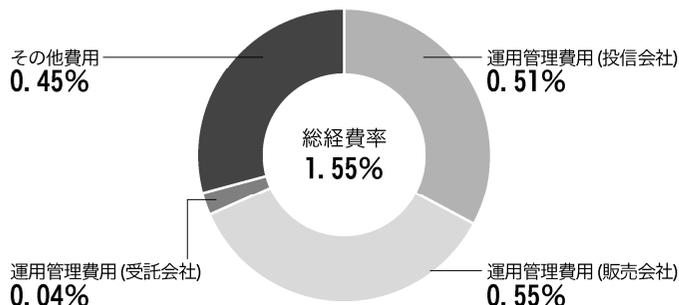
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.55%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高格付海外債券マザーファンド	千口 4,271	千円 5,880	千口 145,720	千円 190,376

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2020年4月20日現在)

親投資信託残高

種 類	作成期首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
高格付海外債券マザーファンド	千口 141,448	千口 -	千円 -

※単位未満は切捨て。

高格付海外債券ファンド（毎月分配型）【愛称：きらきら星】

■ 投資信託財産の構成

(2020年4月20日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	116,896	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	116,896	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2019年11月20日) (2019年12月20日) (2020年1月20日) (2020年2月20日) (2020年3月23日) (2020年4月20日)

項 目	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	償還時
(A) 資 産	190,030,850円	186,515,513円	189,528,537円	181,707,719円	154,226,301円	116,896,987円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	327,660	323,692	327,054	340,260	336,181	116,896,987
高 格 付 海 外 債 券 マ ー ジ ン フ ァ ン ド (評 価 額)	189,703,190	186,191,821	189,201,482	181,367,459	152,795,494	-
未 収 入 金	-	-	1	-	1,094,626	-
(B) 負 債	959,564	936,178	1,489,807	3,081,191	1,943,815	116,427
未 払 収 益 分 配 金	786,232	765,763	767,977	735,070	687,445	-
未 払 解 約 金	1	1	546,069	2,173,928	1,094,626	-
未 払 信 託 報 酬	172,474	169,576	174,888	171,347	160,937	115,505
そ の 他 未 払 費 用	857	838	873	846	807	922
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	189,071,286	185,579,335	188,038,730	178,626,528	152,282,486	116,780,560
元 本	262,077,620	255,254,555	255,992,474	245,023,452	229,148,438	174,608,582
次 期 繰 越 損 益 金	△ 73,006,334	△ 69,675,220	△ 67,953,744	△ 66,396,924	△ 76,865,952	-
償 還 差 損 金	-	-	-	-	-	△ 57,828,022
(D) 受 益 権 総 口 数	262,077,620口	255,254,555口	255,992,474口	245,023,452口	229,148,438口	174,608,582口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	7,214円	7,270円	7,345円	7,290円	6,646円	-
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C/D)	-	-	-	-	-	6,688円13銭

※当作成期における作成期首元本額264,261,440円、作成期中追加設定元本額9,941,019円、作成期中一部解約元本額99,593,877円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合および償還差損金は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額/償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

高格付海外債券ファンド（毎月分配型）【愛称：きらきら星】

■ 損益の状況

(自2019年10月22日
至2019年11月20日)
(自2019年11月21日
至2019年12月20日)
(自2019年12月21日
至2020年1月20日)
(自2020年1月21日
至2020年2月20日)
(自2020年2月21日
至2020年3月23日)
(自2020年3月24日
至2020年4月20日)

項 目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4円	△ 4円	△ 5円	△ 7円	△ 17円	△ 6円
支 払 利 息	△ 4	△ 4	△ 5	△ 7	△ 17	△ 6
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 143,606	2,365,354	2,862,403	△ 434,056	△13,916,401	856,950
売 買 益	16,252	2,401,845	2,885,277	145,666	357,698	1,119,407
売 買 損	△ 159,858	△ 36,491	△ 22,874	△ 579,722	△14,274,099	△ 262,457
(C) 信 託 報 酬 等	△ 173,331	△ 170,414	△ 175,762	△ 172,197	△ 161,746	△ 116,435
(D) 当 期 繰 上 収 益 (A+B+C)	△ 316,941	2,194,936	2,686,636	△ 606,260	△14,078,164	740,509
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△50,282,852	△49,862,808	△48,281,723	△43,863,411	△42,070,107	△43,148,577
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△21,620,309	△21,241,585	△21,590,680	△21,192,183	△20,030,236	△15,419,954
(配当等相当額)	(995,156)	(1,000,507)	(1,048,850)	(1,084,628)	(1,045,915)	(813,250)
(売買損益相当額)	(△22,615,465)	(△22,242,092)	(△22,639,530)	(△22,276,811)	(△21,076,151)	(△16,233,204)
(G) 計 (D + E + F)	△72,220,102	△68,909,457	△67,185,767	△65,661,854	△76,178,507	-
(H) 収 益 分 配 金	△ 786,232	△ 765,763	△ 767,977	△ 735,070	△ 687,445	-
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△73,006,334	△69,675,220	△67,953,744	△66,396,924	△76,865,952	-
償 還 差 損 金 (D+E+F+H)	-	-	-	-	-	△57,828,022
追加信託差損益金	△21,620,309	△21,241,585	△21,590,680	△21,192,183	△20,030,236	-
(配当等相当額)	(997,918)	(1,001,247)	(1,050,626)	(1,087,292)	(1,046,806)	(-)
(売買損益相当額)	(△22,618,227)	(△22,242,832)	(△22,641,306)	(△22,279,475)	(△21,077,042)	(-)
分配準備積立金	7,919,235	7,417,551	7,142,344	6,383,187	5,570,552	-
繰越損益金	△59,305,260	△55,851,186	△53,505,408	△51,587,928	△62,406,268	-

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
(a) 費用控除後の配当等収益	373,297円	498,823円	516,034円	360,988円	317,438円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	-	-	-	-	-
(c) 収益調整金	997,918	1,001,247	1,050,626	1,087,292	1,046,806
(d) 分配準備積立金	8,332,170	7,684,491	7,394,287	6,757,269	5,940,559
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	9,703,385	9,184,561	8,960,947	8,205,549	7,304,803
1万口当たり分配可能額	370	359	350	334	318
(f) 分配金額	786,232	765,763	767,977	735,070	687,445
1万口当たり分配金額(税引前)	30	30	30	30	30

高格付海外債券ファンド（毎月分配型）【愛称：きらきら星】

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年5月27日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年4月20日		資産総額	116,896,987円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	116,427円
受益権口数	2,333,312,039口	174,608,582口	△2,158,703,457口	純資産総額	116,780,560円
元本額	2,333,312,039円	174,608,582円	△2,158,703,457円	受益権口数	174,608,582口
				1万円当たり償還金	6,688.13円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	3,666,820,812	3,694,648,364	10,076	40	0.40
第2期	3,831,522,825	3,635,493,380	9,488	40	0.40
第3期	3,891,280,991	3,172,620,219	8,153	40	0.40
第4期	3,422,145,769	2,412,487,564	7,050	40	0.40
第5期	3,487,634,510	2,508,589,162	7,193	40	0.40
第6期	3,514,866,200	2,416,723,407	6,876	30	0.30
第7期	3,538,103,949	2,491,321,179	7,041	30	0.30
第8期	3,559,424,460	2,737,064,550	7,690	30	0.30
第9期	3,570,414,251	2,756,854,197	7,721	30	0.30
第10期	3,599,609,500	2,833,572,837	7,872	30	0.30
第11期	3,554,808,953	2,873,158,794	8,082	30	0.30
第12期	3,579,071,701	2,886,445,903	8,065	30	0.30
第13期	3,590,810,193	2,973,675,016	8,281	30	0.30
第14期	3,610,592,808	2,991,081,737	8,284	35	0.35
第15期	3,625,789,789	3,078,519,995	8,491	35	0.35
第16期	3,658,770,413	3,040,411,017	8,310	35	0.35
第17期	3,683,806,316	3,006,085,760	8,160	35	0.35
第18期	3,681,963,026	3,067,400,220	8,331	35	0.35
第19期	3,668,115,178	2,947,319,497	8,035	35	0.35
第20期	3,647,080,339	2,892,749,758	7,932	35	0.35
第21期	3,645,179,126	2,980,248,062	8,176	35	0.35
第22期	3,628,032,493	2,767,097,667	7,627	35	0.35
第23期	3,638,534,027	2,822,203,046	7,756	35	0.35
第24期	3,643,221,439	2,715,851,471	7,455	35	0.35
第25期	3,641,994,361	2,738,590,857	7,519	35	0.35
第26期	3,638,286,296	2,784,119,119	7,652	35	0.35
第27期	3,624,246,401	2,683,121,300	7,403	35	0.35
第28期	3,615,113,144	2,758,086,095	7,629	35	0.35
第29期	3,608,112,607	2,693,226,567	7,464	35	0.35
第30期	3,587,858,738	2,695,059,238	7,512	35	0.35
第31期	3,544,002,369	2,725,742,846	7,691	35	0.35

高格付海外債券ファンド（毎月分配型）【愛称：きらきら星】

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 32 期	3,496,645,577	2,639,578,721	7,549	35	0.35
第 33 期	3,435,241,713	2,731,819,955	7,952	35	0.35
第 34 期	3,407,461,061	2,688,196,854	7,889	35	0.35
第 35 期	3,408,148,198	2,641,369,401	7,750	35	0.35
第 36 期	3,391,561,937	2,638,860,223	7,781	35	0.35
第 37 期	3,371,982,527	2,600,464,552	7,712	35	0.35
第 38 期	3,350,547,780	2,511,067,065	7,494	35	0.35
第 39 期	3,347,872,776	2,484,078,312	7,420	30	0.30
第 40 期	3,326,926,875	2,407,748,341	7,237	30	0.30
第 41 期	3,300,705,738	2,393,731,752	7,252	30	0.30
第 42 期	3,278,365,802	2,395,505,465	7,307	30	0.30
第 43 期	3,205,313,772	2,478,780,941	7,733	30	0.30
第 44 期	3,195,365,518	2,541,130,169	7,953	30	0.30
第 45 期	3,182,192,117	2,486,096,699	7,813	30	0.30
第 46 期	3,179,435,275	2,355,534,133	7,409	30	0.30
第 47 期	3,122,976,023	2,344,377,934	7,507	30	0.30
第 48 期	3,102,396,573	2,359,298,091	7,605	25	0.25
第 49 期	3,077,650,241	2,353,392,640	7,647	25	0.25
第 50 期	3,041,501,934	2,344,525,207	7,708	25	0.25
第 51 期	3,032,739,847	2,345,261,732	7,733	25	0.25
第 52 期	3,010,543,036	2,389,834,785	7,938	25	0.25
第 53 期	2,929,153,075	2,425,395,440	8,280	25	0.25
第 54 期	2,887,041,978	2,527,357,527	8,754	25	0.25
第 55 期	2,862,060,552	2,567,148,670	8,970	25	0.25
第 56 期	2,815,372,937	2,550,920,342	9,061	30	0.30
第 57 期	2,785,309,801	2,669,380,304	9,584	30	0.30
第 58 期	2,735,461,101	2,632,520,903	9,624	30	0.30
第 59 期	2,685,081,346	2,360,038,564	8,789	30	0.30
第 60 期	2,651,462,780	2,359,800,627	8,900	30	0.30
第 61 期	2,629,190,638	2,256,483,924	8,582	30	0.30
第 62 期	2,621,357,848	2,346,301,743	8,951	30	0.30
第 63 期	2,573,288,920	2,287,910,086	8,891	30	0.30
第 64 期	2,570,680,674	2,297,128,722	8,936	30	0.30
第 65 期	2,528,016,627	2,294,525,197	9,076	30	0.30
第 66 期	2,504,076,720	2,267,666,314	9,056	30	0.30
第 67 期	2,490,886,655	2,240,107,985	8,993	30	0.30
第 68 期	2,485,472,688	2,242,677,107	9,023	30	0.30
第 69 期	2,477,077,971	2,285,231,136	9,226	30	0.30
第 70 期	2,476,433,417	2,286,096,005	9,231	30	0.30
第 71 期	2,458,313,883	2,277,165,050	9,263	30	0.30
第 72 期	2,467,450,795	2,288,655,380	9,275	30	0.30
第 73 期	2,455,745,794	2,284,001,281	9,301	30	0.30

高格付海外債券ファンド（毎月分配型）【愛称：きらきら星】

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 74 期	2,416,761,062	2,296,990,541	9,504	30	0.30
第 75 期	2,410,747,599	2,238,964,750	9,287	30	0.30
第 76 期	2,403,958,349	2,408,545,565	10,019	30	0.30
第 77 期	2,401,101,544	2,385,073,959	9,933	30	0.30
第 78 期	2,401,142,891	2,361,558,380	9,835	30	0.30
第 79 期	2,398,815,481	2,308,792,094	9,625	30	0.30
第 80 期	2,397,552,708	2,309,699,114	9,634	30	0.30
第 81 期	2,397,373,116	2,331,025,682	9,723	30	0.30
第 82 期	2,392,476,681	2,314,255,543	9,673	30	0.30
第 83 期	2,391,376,682	2,314,341,690	9,678	30	0.30
第 84 期	2,387,201,199	2,264,037,182	9,484	30	0.30
第 85 期	2,373,492,031	2,252,772,732	9,491	30	0.30
第 86 期	2,367,694,634	2,121,480,560	8,960	30	0.30
第 87 期	2,364,517,720	2,174,750,453	9,197	30	0.30
第 88 期	2,364,114,641	2,173,042,932	9,192	30	0.30
第 89 期	2,363,096,043	2,146,035,930	9,081	30	0.30
第 90 期	2,355,440,550	2,018,854,043	8,571	30	0.30
第 91 期	2,348,624,126	1,998,556,637	8,509	30	0.30
第 92 期	2,348,111,765	2,018,324,708	8,596	30	0.30
第 93 期	2,348,242,330	2,004,737,199	8,537	30	0.30
第 94 期	2,349,631,949	1,970,808,748	8,388	30	0.30
第 95 期	2,339,535,461	1,922,880,530	8,219	30	0.30
第 96 期	2,336,707,133	1,924,420,995	8,236	30	0.30
第 97 期	2,332,823,748	1,838,977,201	7,883	30	0.30
第 98 期	2,328,291,505	1,824,596,061	7,837	30	0.30
第 99 期	2,331,358,951	1,849,065,723	7,931	30	0.30
第 100 期	2,327,943,718	1,870,199,984	8,034	30	0.30
第 101 期	2,320,754,797	1,926,020,349	8,299	30	0.30
第 102 期	2,319,748,646	1,935,213,580	8,342	30	0.30
第 103 期	2,314,694,018	1,904,769,060	8,229	30	0.30
第 104 期	2,311,686,446	1,888,103,237	8,168	30	0.30
第 105 期	2,310,406,237	1,834,859,381	7,942	30	0.30
第 106 期	2,309,829,698	1,865,262,830	8,075	30	0.30
第 107 期	2,308,824,610	1,898,809,194	8,224	30	0.30
第 108 期	2,299,753,799	1,918,697,759	8,343	30	0.30
第 109 期	2,295,337,971	1,870,051,129	8,147	30	0.30
第 110 期	2,295,437,066	1,908,501,701	8,314	30	0.30
第 111 期	2,291,430,844	1,890,261,241	8,249	30	0.30
第 112 期	2,276,031,347	1,833,105,104	8,054	30	0.30
第 113 期	2,275,551,023	1,857,372,225	8,162	30	0.30
第 114 期	2,276,744,857	1,846,298,769	8,109	30	0.30
第 115 期	2,275,735,765	1,766,615,479	7,763	30	0.30

高格付海外債券ファンド（毎月分配型）【愛称：きらきら星】

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 116 期	2,277,706,053	1,727,020,843	7,582	30	0.30
第 117 期	2,279,698,488	1,750,118,796	7,677	30	0.30
第 118 期	2,281,386,529	1,752,265,402	7,681	30	0.30
第 119 期	2,271,142,562	1,725,504,413	7,598	30	0.30
第 120 期	2,041,749,142	1,575,314,789	7,716	30	0.30
第 121 期	1,842,260,903	1,390,497,746	7,548	30	0.30
第 122 期	1,364,488,680	1,036,338,793	7,595	30	0.30
第 123 期	1,264,865,433	945,996,414	7,479	30	0.30
第 124 期	868,210,551	658,940,966	7,590	30	0.30
第 125 期	570,859,413	434,201,727	7,606	30	0.30
第 126 期	471,724,981	350,288,011	7,426	30	0.30
第 127 期	271,087,537	204,385,518	7,539	30	0.30
第 128 期	272,179,856	206,204,961	7,576	30	0.30
第 129 期	273,076,320	206,372,821	7,557	30	0.30
第 130 期	274,596,910	202,220,425	7,364	30	0.30
第 131 期	273,050,625	200,497,663	7,343	30	0.30
第 132 期	270,982,776	200,877,594	7,413	30	0.30
第 133 期	268,468,986	194,565,096	7,247	30	0.30
第 134 期	269,377,273	195,115,938	7,243	30	0.30
第 135 期	264,261,440	191,762,949	7,257	30	0.30
第 136 期	262,077,620	189,071,286	7,214	30	0.30
第 137 期	255,254,555	185,579,335	7,270	30	0.30
第 138 期	255,992,474	188,038,730	7,345	30	0.30
第 139 期	245,023,452	178,626,528	7,290	30	0.30
第 140 期	229,148,438	152,282,486	6,646	30	0.30

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	第 136 期	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期
		30円	30円	30円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

高格付海外債券マザーファンド

第12期（2019年4月23日から2020年4月17日まで）

信託期間	2008年5月27日から2020年4月17日（当初、無期限）まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、格付けが高く相対的に高金利な世界（除く日本）の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債に投資します。 ・組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	純資産額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
8期(2016年4月20日)	13,113	△7.6	97.4	2,013
9期(2017年4月20日)	12,889	△1.7	96.9	1,842
10期(2018年4月20日)	13,170	2.2	96.6	1,758
11期(2019年4月22日)	13,797	4.8	93.6	207
(償還時)	(償還価額)			
12期(2020年4月17日)	12,924.15	△6.3	—	117

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入率 比
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2019年4月22日	13,797	—	93.6
4月末	13,725	△0.5	93.8
5月末	13,455	△2.5	95.7
6月末	13,680	△0.8	95.6
7月末	13,700	△0.7	96.1
8月末	13,428	△2.7	95.5
9月末	13,559	△1.7	95.2
10月末	13,679	△0.9	97.3
11月末	13,750	△0.3	96.3
12月末	13,973	1.3	93.1
2020年1月末	13,883	0.6	95.7
2月末	13,831	0.2	94.7
3月末	12,936	△6.2	—
(償還時)	(償還価額)		
2020年4月17日	12,924.15	△6.3	—

※騰落率は期首比です。

設定以来の運用状況 (設定日 (2008年5月27日) から償還日 (2020年4月17日) まで)

設定以来の基準価額の推移



前期までの概略 (設定日 (2008年5月27日) から第11期末 (2019年4月22日) まで)

当ファンドは、主に格付けが高く相対的に高金利な世界（除く日本）の国債などに投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

以下は、設定日から第11期末までの基準価額の変動要因です。

【第1期 (設定日 (2008年5月27日) ~2009年4月20日)】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月以降、米国で金融危機が深刻化し、その後欧州など世界各国に拡大し、実体経済へ波及したことで世界的に景気後退懸念が高まり、全ての投資国の債券利回りが低下（債券価格は上昇）したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月以降、金融危機の高まりによる投資家のリスク資産圧縮の動きから、円キャリー取引（低金利の円資産を借りて外貨建て資産に投資する取引）を解消する動きが進み、円が全ての投資通貨に対して大幅に上昇（円高）したこと

高格付海外債券マザーファンド

【第2期(2009年4月21日～2010年4月20日)】

上昇要因	・世界的な景気回復期待の高まりによる投資家のリスク志向の回復に伴い、オーストラリアドルやニュージーランドドル等の投資通貨が円に対して大幅に上昇（円安）したこと
下落要因	・投資対象国の債券利回りは各国まちまちの動きとなりましたが、世界的な景気回復期待や国債需給の悪化懸念から、全体として上昇（債券価格は下落）したこと

【第3期(2010年4月21日～2011年4月20日)】

上昇要因	・投資通貨の内、オーストラリアドル、スウェーデンクローナ（2011年1月組み入れ）が円に対して上昇（円安）したこと
下落要因	・投資通貨の内、イギリスポンド、ノルウェークローネ、デンマーククローネ（期初より2010年5月売却まで）、カナダドル（2010年5月組み入れ～2011年1月売却まで）が円に対して下落（円高）したこと

【第4期(2011年4月21日～2012年4月20日)】

上昇要因	・投資債券の内、イギリスの債券利回りが低下（債券価格は上昇）したこと
下落要因	・投資通貨の内、ユーロ（2011年10月より2012年2月売却まで）やノルウェークローネが円に対して下落（円高）したこと

【第5期(2012年4月21日～2013年4月22日)】

上昇要因	・すべての投資国の債券利回りが低下（債券価格は上昇）するとともに、為替市場では全ての投資通貨が円に対して大きく上昇（円安）したこと
------	-------------------------------------------------------------------

【第6期(2013年4月23日～2014年4月21日)】

上昇要因	・投資国の債券利回りは概ねもみ合いで推移するなか、為替市場では、投資家のリスク選好姿勢の回復などから、全ての投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと
------	----------------------------------------------------------------------------

【第7期(2014年4月22日～2015年4月20日)】

上昇要因	・米国の利上げ見通しの前倒しなどにより、8月から9月下旬にかけて米ドルが対円で上昇した影響を受け、投資通貨も対円で上昇（円安）したこと
下落要因	・12月中旬から2月上旬にかけては、原油など商品価格の下落による世界経済の先行き懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことで、投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第8期(2015年4月21日～2016年4月20日)】

上昇要因	・6月中旬から期末にかけて、全ての投資国の債券利回りが低下（債券価格は上昇）したこと
下落要因	・ニュージーランドドルを筆頭に全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第9期(2016年4月21日～2017年4月20日)】

上昇要因	・2016年11月から12月にかけて、トランプ次期大統領の拡張的な財政政策に対する期待から、米ドルをはじめとする投資通貨に対して円安基調で推移したこと
下落要因	・期首から6月にかけて、EU（欧州連合）離脱を巡る混乱などから英ポンド（6月末に売却）を筆頭にほぼ全ての投資通貨が円に対して下落（円高）したこと

【第10期(2017年4月21日～2018年4月20日)】

上昇要因	・期を通してみると、堅調な商品市況などを背景に米ドルを除く全ての投資通貨が円に対して上昇（円安）したこと
下落要因	・米国やカナダで利上げが継続していることなどを受け、期を通してみると、米国やカナダを中心にほとんどの投資国の債券利回りが上昇（債券価格が下落）したこと

【第11期(2018年4月21日～2019年4月22日)】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・期を通してみると、全ての投資通貨の債券利回りが低下（債券価格が上昇）したこと ・米ドルやシンガポールドルが円に対して上昇（円安）したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアドルやニュージーランドドル、カナダドルが円に対して下落（円高）したこと

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について(2019年4月23日から2020年4月17日まで)



▶ 基準価額の主な変動要因(2019年4月23日から2020年4月17日まで)

当ファンドは、主に格付けが高く相対的に高金利な世界（除く日本）の国債などに投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リスク回避姿勢が高まり、全ての投資通貨が逃避通貨とされる円に対して下落したこと
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

▶ 投資環境について (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

投資国の債券利回りは、全ての国で低下（債券価格は上昇）しました。為替市場では、全ての投資通貨が円に対して下落しました。

海外債券市場

期初から8月下旬にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が強まり、それに伴ってグローバル景気の見通し悪化や各国の中央銀行のハト派（景気を重視する立場）化が目立つ展開となったことから、投資国の債券利回りは大きく低下しました。特に米国やニュージーランドなどでは利下げ期待が急速に高まり、また実際に利下げが実施されたことで、投資国の中でも債券利回りの低下が顕著となりました。その後、9月から10月にかけては、米中通商協議が進展するとの楽観的な見方が広がったことなどを背景にリスク選好姿勢が回復し、投資国の債券利回りは緩やかに上昇する動きとなりました。その後も流れは変わらず、英国が合意なきEU（欧州連合）離脱を回避できるとの期待が高まったこと（2020年1月末に離脱が実現しました）や、12月には米中通商協議における第一段階の合意が発表されたことで投資家のリスク選好姿勢が強まったことも、利回りの上昇要因となりました。2020年1月から3月にかけては、中国発の新型コロナウイルスの感染が世界各国に広がりを見せるなかで、世界的な株価急落を受けたリスク回避的な動きや、3月以降のFRB（米連邦準備制度理事会）をはじめとした各国中央銀行の緊急利下げや大規模な資産買取策を実施する動きが相次ぎ、投資国の債券利回りは大きく低下しました。その後、償還日にかけては、世界的に株価が緩やかな反転上昇に転じる中でも、投資国の債券利回りは総じて低位で推移しました。

期を通してみれば、全ての投資国の債券利回りは低下しました。

当期の市場の動きを「FTSE世界国債インデックス」および「参考市場インデックス」の国別の最終利回りで見ると、米国は期首2.49%から償還日0.50%へと低下し、ニュージーランドは期首1.75%から償還日0.72%へと低下しました。

為替市場

期初から8月下旬にかけては、米中貿易摩擦に伴うグローバルな景気見通しの悪化や、日本と投資国との金利差縮小の動きから、投資通貨は円に対して下落する動きとなりました。9月から10月にかけては、米中通商協議の進展期待や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱に対する懸念の後退などから、市場のリスク選好姿勢が回復し、投資通貨は円に対して緩やかに上昇する動きとなりました。その後も流れは変わらず、年末にかけては、英国の合意なきEU離脱を回避できるとの期待が高まったことや、12月に米中通商協議における第一段階の合意が発表されたことで、投資家のリスク回避姿勢の後退から、投資通貨は円に対して概ね底堅い動きが続きました。2020年1月から3月にかけては、中国発の新型コロナウイルスの感染が世界各国に広がるなか、世界的に株価が急落し、投資家のリスク回避の動きが強まり、ノルウェークローネやニュージーランドドル、カナダドルなどの資源国通貨を中心に円に対し大きく下落しました。米ドルは、FRBの緊急利下げなどを背景に一時的に円に対して下落する局面がありましたが、3月以降はリスク

回避的な動きに伴う米ドル資金に対する需要から米ドルが急反発したことで、円に対する下落幅は小幅に留まりました。その後、償還日にかけては、世界的に株価が緩やかに持ち直す中で、投資通貨も下げ止まり、もみ合い推移へ移行しました。

期を通してみれば、全ての投資通貨が円に対して下落しました。

当期の米ドル・円は、期首111円99銭から償還日107円94銭と4円05銭の米ドル安・円高、カナダドル・円は、期首83円71銭から償還日76円91銭と6円80銭のカナダドル安・円高、ニュージーランドドル・円は、期首74円88銭から償還日64円81銭と10円07銭のニュージーランドドル安・円高となりました。

▶ ポートフォリオについて (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

債券組入比率

債券の組入比率は高位に維持しました。償還日に向けては、保有債券の全売却を行いました。

デュレーション

デュレーション（投資資金の平均回収期間）は通貨単位でコントロールし、通貨毎に概ね市場（FTSE世界国債インデックス（除く日本）^{※1}または参考市場インデックス^{※2}の通貨毎）平均程度となるように調整を行いました。

※1 FTSE世界国債インデックス（除く日本）とは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※2 参考市場インデックスとは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている、「FTSE世界国債インデックス」採用国以外の世界主要国の国債の市場別債券インデックスです。

通貨別配分

格付けが高く相対的に高金利な5通貨を選定し、選定した5通貨に概ね等金額を配分しました。期首には、米ドル、カナダドル、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、シンガポールドルの5通貨を投資通貨として組み入れていました。金利水準、市場動向等を勘案し、2019年8月にオーストラリアドルからノルウェークローネへと投資通貨の入替えを行い、これらの5通貨の組入れを継続しました。償還日に向けては、投資通貨を全額売却しました。

種別配分

国債を中心に組み入れを行いました。

格付け別配分

全てAAA格の債券（S&PまたはMoody's（米格付け会社）のいずれか高い方を採用）に投資を行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (保管費用)	55円 (55)	0.406% (0.403)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	55	0.406	

期中の平均基準価額は13,633円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 28	千米ドル 407
	カナダ	国債証券	千カナダドル 76	千カナダドル 534
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 3,084	千ノルウェークローネ 3,112
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 307	千オーストラリアドル 541
		特殊債証券	—	291
国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 93	千ニュージーランドドル 603
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 141	千シンガポールドル 638

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年4月23日から2020年4月17日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年4月17日現在)

償還日現在の組入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

(2020年4月17日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	117,237	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	117,237	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2020年4月17日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	117,237,752円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	117,237,752
(B) 負 債	3,101
そ の 他 未 払 費 用	3,101
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	117,234,651
元 本	90,709,749
償 還 差 益 金	26,524,902
(D) 受 益 権 総 口 数	90,709,749口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C/D)	12,924円15銭

※当期における期首元本額150,085,558円、期中追加設定元本額8,496,002円、期中一部解約元本額67,871,811円です。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高格付海外債券ファンド (毎月分配型) 90,709,749円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年4月23日 至2020年4月17日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,098,092円
受 取 利 息	6,105,714
支 払 利 息	△ 7,622
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△16,162,438
売 買 益	8,588,459
売 買 損	△24,750,897
(C) 信 託 報 酬 等	△ 770,941
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△10,835,287
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	56,989,748
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,112,816
(G) 解 約 差 損 益 金	△22,742,375
償 還 差 益 金 (D + E + F + G)	26,524,902

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。